

会報

秋

No.175

2016.10

一般社団法人北海道電業協会



目 次

大規模公共建築物の整備 ……………北海道建設部施設整備担当局長 加藤 建一 ……	1
就任ご挨拶……………	2～4
三機工業(株)北海道支店 執行役員支店長 荻部 郁生 (株)北弘電社 代表取締役社長 脇田 智明 東邦電気工業(株) 北海道支店長 大橋 修二 (株)データベース 代表取締役 大森 康弘 (一社)北海道電業協会 専務理事 宇野 徹	
平成28年度 安全大会……………	5
平成28年度 札幌市電気設備施工研修会……………	6
化学物質のリスクアセスメント説明会……………	7
—シリーズ— 1 / 212便り 豊かな自然 心ふれあう未来をつくるまち～浦幌町～ 浦幌町長 水澤 一 廣…	8～9
せたな自慢の「日本一・日本初」～せたな町～ せたな町長 高橋 貞光…	10～11
技術系学校の先生との懇談会……………	12
技術系学校生徒との施設見学会……………	13
—シリーズ— 「私のいちおし」 (株)ドウデン 代表取締役社長 小笠原 憲生…	14
現場からこんにちは……………	15
平成28年度 北海道の建築工事に係る合同研修会……………	16
厚生委員会行事報告	
ゴルフ部会……………	17
野球部会（ソフトボール）……………	18～19
ボウリング部会……………	20～21
業界だより、理事会、三役会、委員会報告……………	22～23
事務局日誌……………	24
編集後記	



大規模公共建築物の整備

北海道建設部施設整備担当局長

加藤 建一

日頃より、(一社)北海道電業協会の皆様には、道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

施設整備担当局長の所管しています業務は、札幌医科大学施設整備及び道議会庁舎改築など事業期間が長く大規模な道有施設の整備を担当しております。

札幌医科大学の主な教育研究施設は、昭和40年代前半に建設され、老朽化が著しく、耐震基準を満たさない建物も存在しています。

また、本道においては、医療圏ごとの医師の偏在が著しく、道内の多くの地域において医師不足は深刻な状況となっていることから、地域医療を支える医師の増加を図ることが求められているが、現在施設は収容入学定員増には対応出来ない状況にあります。

これらを踏まえ、平成24～32年度までの9ヶ年の計画で既存施設の解体後、跡地に整備を行う現地改築方式で教育研究施設Ⅰ及びⅢの施設整備を進めており、完成後の平成30年には教育研究施設Ⅱ及び大学管理施設等の着手を予定しています。

また、札幌医科大学附属病院は、昭和58年に建設されてから30年以上経過し、医療環境の専門化、高度化に伴う設備の充実を図ってきた結果、狭隘化が進行し、患者の医療環境や特定機能病院として高度で先進的な医療への対応が限界にきている状況にあり、診療機能の拡充や患者アメニティの向上など機能強化を図るため札幌医科大学

附属病院増築工事を、平成29年度の完成にむけ整備を進めています。

これら札幌医科大学の施設整備にあたっては、環境に配慮した施設として、自然採光の確保、空調インバータ制御、LED照明、人感センサー、外断熱工法、高断熱気密サッシの採用により、省エネルギーと資源の有効活用に配慮しています。

次に道議会庁舎は、建築後60年以上経過した現議会庁舎の抱える耐震性や狭隘化などの課題を解決し、ユニバーサルデザインなどの時代にあった庁舎へ改築するため、設計者をプルポーザル方式により選定し今年8月に基本設計に着手したところです。

今後は実施設計を経て本工事を平成29年秋頃に発注する予定です。

なお、議会庁舎の改築に当たっては自然エネルギーを活用、省エネ技術の導入によりZEB化などの実現に向け検討を進めているところです。

最後になりますが、大規模施設整備にあたっては、CO₂の削減などの環境への配慮はもとより耐震化、情報化など建築設備と一体化した対応も求められており、これらを円滑に進めていくためには、高度な知識と豊富な経験を有する北海道電業協会会員の皆様のご協力が不可欠であります。

今後とも行政の良きパートナーとして皆様のご理解とご協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

就任ご挨拶



三機工業(株)北海道支店
執行役員支店長

菊 部 郁 生

初秋の候、会員の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、4月1日付で前支店長石田 博一の後任として北海道支店長に就任いたしました菊部郁生でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。

経験不足な面はありますが、会員の皆様にご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会ならびに業界の発展のために微力ながら最善を尽くす所存でございますので、前任者同様よろしくお願い致します。

当社は、1925年に創立しており、昨年、90周年を迎えることができました。

今年は100年企業という未来に向かって、新たな

一步を踏み出す年となります。

そこで、策定された新たな経営方針は「技術」と「人」を磨き、より「質」を高め、「信頼」を高めるであります。

当社の事業領域としましては、電気部門を含む建築設備事業、機械システム事業、環境システム事業と多岐に渡って事業があり、総合エンジニアリング会社として、さまざまな技術と人を磨き今まで以上に社会へ貢献してまいります。

私事ではありますが、室蘭生まれの、苫小牧育ちです。どちらも工業の町のイメージが強い所です。そんな環境の中、私もエンジニアの端くれになったのだと思います。

北海道はまだまだ工業の発展の余地が多くあります。エンジニアの名に恥じないよう北海道の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、皆様のご指導の程よろしくお願いいたします。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。



(株)北弘電社
代表取締役社長

脇 田 智 明

清秋の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

6月22日付で前社長 中野章の後任として社長に就任いたしました脇田智明でございます。

平素は当協会並びに会員の皆様には大変ご高配にあずかり、心より厚くお礼申し上げます。今後とも、会員の皆様のご支援とご協力を賜り、協会の発展に微力ではありますが精一杯努力していく所存ですので、何卒宜しくお願いいたします。

当社は、明治43年に電気工事の設計・施工匿名組合として創業以来、電気設備工事の施工を通じて地域社会への貢献を果たすべく、北海道を中心に積み重ねてきた実績や高めてきた品質を礎とし、鍛え上げてきた施工技術・施工能力を活かし、「社

会インフラ」「産業インフラ」「快適な事務・生活空間」構築の活動を続けることで、今年で105周年を迎えることができました。

私事ではありますが、平成22年から平成25年にかけて、初めて北海道勤務を経験し、雄大な大地と五感で感じられる季節に感動を覚え、この地域に密着して地域に貢献できる活動の推進を強く思った矢先の転勤で、後ろ髪を引かれる思いでこの地を離れましたが、今年4月から縁あってこの会社で働く機会を得て、戻って来られたことに大きな喜びを感じています。

環境・エネルギーなどの領域では、社会の仕組みや生活環境など大きく変化していくことも予想されますが、北海道の潜在能力が発揮でき、地域と共に成長・発展できるような活動をしていきたいと思っております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



東邦電気工業(株)
北海道支店長

大橋 修二

初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、7月1日付で前支店長の松浦重男の後任として北海道支店長に就任しました大橋修二でございます。

平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり心より厚くお礼申し上げます。微力ながら最善を尽くす所存でございますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

当社は、戦後の通信網の荒廃を復旧するため、昭和24年1月に「東邦通信工業株式会社」として誕生。当初は藤倉電線株式会社殿の本社の一部に同居し、通信ケーブルのガス封入に関する工事会社として業務を開始しました。

その後、従来の通信工事のほか国鉄の電車線路・電灯電力・信号及び発変電工事にも主力を拡

大し総合電気工事会社として、昭和30年6月に社名を現在の「東邦電気工業株式会社」に改称し現在に至っております。

私事ではありますが、栃木県で生まれ育ち東京で入社しました。入社後、大型工事・プロジェクト工事の度に出張・転勤を繰り返し、この度初めて札幌の地を踏む事になりました。皆様とは初めてお会いする方ばかりであり、ご迷惑をお掛けすることもあろうかと思いますが、何卒ご容赦のほどよろしくお願いいたします。

また、北海道新幹線の開業により、函館市と近郊は今も大勢の旅行客が押し寄せ、「開業効果」が薄れる気配はなく、在来線にはなかった新たな需要も生まれているとの明るい情報も耳にします。当協会並びに会員の皆様とともに、この活気の継続に少しでも貢献できればという思いで日々努力をしまいたいと思っております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



(株)データベース
代表取締役

大森 康弘

清秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

弊社は、昭和53年10月に「北海道下水道メンテナンス株式会社」として創業し、平成4年7月「株式会社メンテック」へ、平成20年10月に「株式会社データベース」へと社名を改め、現在は、下水処理施設をはじめ環境施設の維持管理を主軸とした総合環境サービスを提供させていただいております。

弊社をはじめ、「株式会社データ電建（昭和51年4月創業）」など我々データグループは、設計・

施工・維持管理を事業の柱とした総合エンジニアリンググループとしての発展を目指して、日々邁進しております。

この度、昨今の包括委託等の社会情勢を踏まえ、弊社の工事部門の強化を行うべく、平成28年7月1日「株式会社データ電建」より建設工事業業に関する権利義務を事業承継することにいたしました。

皆様の「株式会社データ電建」に対する長年のご厚誼を賜り深く感謝いたしますとともに、これからも、「株式会社データベース」に対し倍旧のご厚情、ご支援を賜りますように切にお願い申し上げます。

道内はまだまだ厳しい経済環境ではありますが、当協会と会員の皆様との活動を通じて、地域の発展に貢献してまいりたいと考えております。

最後になりますが、当協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念して、事業承継の挨拶とさせていただきます。



(社)北海道電業協会
専務理事

宇野 徹

会員の皆様、諸官庁はじめ関係機関・団体の皆様、はじめまして。今年5月の定時総会で理事に補欠選任いただき、同日の理事会で専務理事を拝命しました。誌上をお借りし、あらためてご挨拶申し上げます。

前職である電力に三十有余年勤務した後、当協会へご縁をいただき、お世話になることといたしました。

専務理事という大役を担わせていただき、早いもので4か月が過ぎようとしています。これまでとは勝手の違う仕事に、毎日が悪戦苦闘の連続でしたが、ここに来てようやく雰囲気慣れ、少しは馴染んできたような気がしています。今回の人事が、協会の円滑な運営や会員の皆様へご迷惑をかけることがないよう、一生懸命取り組む所存ですので、前任者同様ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、時代の変遷の中で、電設業界を取り巻く環境も随分変わってまいりました。少子高齢化社会への対応、札幌一極集中と地方の過疎化、IT社会の急速な進展、電力小売りの全面自由化をはじめ一連の電力システム改革への対応など業界へも直接的、間接的に関わってくる問題です。中でも、高齢化の問題は、差し迫った課題であり、社会基盤整備の一翼を担う電設業界が今後とも健全に発展していくためには、将来を担う優秀な人材の確保と技術・技能の継承を促進していくことが不可欠です。様々な課題がある中、将来の業界のあるべき姿、5年先、10年先を見通して、協会の担う役割を役員はじめ会員の皆様とともに考えてまいりたいと思っています。

来年は、協会が設立されて、50年という節目の年にあたります。多くの苦難を乗り越え、今があるということを忘れず、これまでの歩みを振り返り、協会のあるべき姿を今一度考えてみる契機にしたいものです。

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。会員の皆様の安全と協会の一層の発展を祈念して、専務理事就任のご挨拶とさせていただきます。



平成28年度 安全大会



6月23日(木)北海道電気会館において平成28年度安全大会が(一社)札幌電設業協会と共催で開催された。

本年も「見えますか？あなたのまわりの 見えない危険 みんなで見つける 安全管理」をスローガンに6月1日(水)～30日(木)までを準備期間、7月1日(金)～7日(木)の間で全国安全週間が実施される。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場監理技術者まで152名が参加した。

開会の挨拶で(一社)札幌電設業協会の加藤 定義副会長から「これまで現場で労働災害防止対策を担ってきた熟練労働者が、大量に退職を迎えており、安全衛生管理のノウハウが失われることによる安全衛生水準の低下が懸念される。

このような状況の中、自主的な安全衛生活動の促進を目的としたリスクアセスメントを導入し、その結果に基づく措置の実施と、労働安全マネジメントシステムを積極的に推進して、自主的な安全衛生活動を活性化させることが大切である。

また、これから夏場の高温期には熱中症の発生

が懸念されるので、水分補給をおこたらないようにしていただき、労働災害発生 of 未然防止に配慮願いたい」と参加者全員に積極的な災害防止活動を訴えた。

安全講話では、札幌市都市局建築部電気設備課の中村 範仁課長から、市内の平成27年度事故発生事例とその原因および再発防止対策などの紹介があり「さまざまな可能性を想定し、十分な余裕を持って作業に臨んでほしい」と要請された。

引き続き、北海道警察本部交通部交通企画課安全対策係の梶 貴晶係長からは、道内の飲酒を含む交通事故の現状、従業員の交通事故と企業のリスク、道路交通法改正のポイントなどについて解説された。

閉会の挨拶で、当協会の宇野 徹専務理事から「一人ひとりが、安全第一の精神をもって作業を遂行していくことが無事故、無災害につながる。工事に係るすべての人が、安全意識を共有し、経営者と現場が一体となってゼロ災害に取り組んでいただきたい」と力強く呼びかけた。



(安全講話) 中村電気設備課長



(交通安全講話) 梶安全対策係長

平成28年度 札幌市電気設備施工研修会



平成28年7月21日(木)北海道電気会館において、当協会と(一社)札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約134名が参加した。今回で33回目となるこの研修会は、札幌市から担当者を招き、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明を受け今後の施工技術向上などに役立てている。

はじめに主催者を代表して当協会の宇野 徹専務理事から「市発注工事の動向や施工、積算などに関して学び、職場の中でも広く浸透させ、意義ある研修会にしてほしい」と呼びかけた。

札幌市都市局建築部の中村 範仁電気設備課長から「今年度発注工事100件弱の内64件の工事を告示させてもらった。今後、円山球場改修電気工事、札幌コンベンションセンター中央監視更新工事、小中学校改修電気設備工事10件程度他を予定しているので、契約管理課のホームページの発注見通し情報で追加、変更を確認願いたい」最後に「環境低減を考慮し安心、安全を感じられるよう公共施設の整備を進めていきたい」と協力を求め挨拶された。この後、講師の皆さまから電気設備工事に関する留意事項、公共工事の検査目的、工事書類簡素化実施要領の改定等について説明いただいた。

引き続き会員から事前に寄せられた質問・要望の9項目には、電気設備課と工事監理室が分担して対応し、互いの認識共有を図った。

最後に(一社)札幌電設業協会の鈴木 暁彦技術副



ご挨拶 中村電気設備課長

委員長から工事施工などの留意事項、特記仕様書の変更点について講師の皆様より詳細な解説をいただいた事に対する謝意を表し、閉会挨拶とした。

【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話
2. 電気設備工事の工事成績表及び自己評価について
3. 電気設備工事に関する留意事項について
4. 会員からの質問・要望事項に関する回答
5. その他

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課
課長 中村 範仁 様
電気一係長 橋本 泰 様
電気二係長 中里 聡 様
札幌市財政局工事管理室技術管理課
電気検査担当係長 立川 知之 様

化学物質のリスクアセスメント説明会



平成28年6月30日(木)北海道電気会館6階大ホールにおいて、化学物質についてリスクアセスメントの実施が事業者に義務化（平成28年6月1日施行）されたため、その内容の説明会が開催され30名が出席した。

当日は北海道労働局労働基準部健康課の尾張

裕一労働衛生専門官様を講師にお招きし、法改正の内容と具体的なリスクアセスメントの手順などについて分かりやすく説明が行われた。

また、説明会後半には、翌日7月1日から始まる全国安全週間の実施内容と建設業の災害発生状況などについても説明が行われた。

資料抜粋

化学物質のリスクアセスメントに係る法改正（労働安全衛生法）

—第57条の3—

事業者は、厚生労働省令で定めるところにより、第57条第1項の政令で定める物及び通知対象物による危険性又は有害性等を調査しなければならない。

2 事業者は、前項の調査の結果に基づいて、この法律又はこれに基づく命令の規定による措置を講ずるほか、労働者の危険又は健康障害を防止するため必要な措置を講ずるように努めなければならない。

3 略

リスクアセスメントの実施時期～施行日（平成28年6月1日）以降、該当する場合に実施

—法律上の実施義務—

1. 対象物を原材料などとして新規に採用したり、変更したりするとき

2. 対象物を製造し、または取り扱う業務の作業の方法や作業手順を新規に採用したり変更したりするとき

3. 前の2つに掲げるもののほか、対象物による危険性または有害性などについて変化が生じたり、生ずるおそれがあったりするとき

リスクアセスメントの流れ

《ステップ1》化学物質などによる危険性または有害性の特定

《ステップ2》特定された危険性または有害性によるリスクの見積り

《ステップ3》リスクの見積りに基づくリスク低減措置の内容の検討

《ステップ4》リスク低減措置の実施

《ステップ5》リスクアセスメント結果の労働者への周知



豊かな自然

心ふれあう未来をつくるまち
～浦幌町～

浦幌町長 水澤 一 廣



■まちの概要

北海道十勝総合振興局管内の最東端にあります。地形はゆるやかな丘陵地と河岸段丘からなり、東は丘陵山脈、南は太平洋に面した南北に長い町で、山林が7割を占める行政面積は全国市町村で91番目の729.85平方キロメートルです。

町の中央部を延長90.2キロメートルの浦幌川が流れ、十勝静内川・浦幌十勝川と合流し、地味良好な耕地をつくって太平洋に注いでいる自然豊かなまちです。

明治2年、十勝国十勝郡に属し、同年静岡藩の支配を経て同4年、開拓使の直轄となりました。この頃、当地域にはベッチャロ・トカチ・オヘコハシ・アイニウシ・オホツ・ヲサウスの6ヶ村が置かれ、同13年、十勝外四郡戸長役場を独立させ、生剛の地に戸長役場を設置しました。

明治36年、浦幌～釧路間の鉄道が開通し、浦幌駅も開業したことから役場を浦幌に移転。本格的な村づくりが始まり、同39年4月1日には二級町村に指定され、生剛村・愛牛村をもって生剛村と

なり、同45年には浦幌村と改称しました。昭和29年町制を施行して浦幌町が成立し、翌30年大津村の東部を編入し現在に至っています。

■町の特産品

浦幌町は農業、畜産業、林業、水産業と多種多様な第一次産業が営まれている町で、ふるさと納税においてもギョウジャニンニクで味付けされたジンギスカンや期間限定のいくらと鮭のセット等、浦幌特産の食べ物が人気です。



■ふるさとのみのり祭り

ふるさとのみのり祭りは「毎年9月第4日曜日」に開催されます。

秋の五穀豊穣を祝うお祭りで、町の特産品が当たる餅まきは道内最大級の規模を誇り、生きた秋あじのつかみ取り、人気歌手の歌謡ショーなど催し物がいっぱい。

農産物、海産物など町の特産品即売会や秋の味覚いっぱいのバザーなど実りの秋をご家族で楽しめます。



全道最大級の餅まき



秋あじのつかみ取り

■うらほろ留真温泉

平成23年3月14日に町営温泉としてリニューアルオープンした「うらほろ留真温泉」は、豊かな森に囲まれた静かな天然温泉で、道内トップクラスのPH9.8という高いアルカリ性の泉質を持ち、美肌によい良質な温泉として評判です。

温泉は日帰り温泉となっていますが、敷地内には宿泊のできるコテージがあります。

営業時間は11時から21時で、年中無休で営業しています。

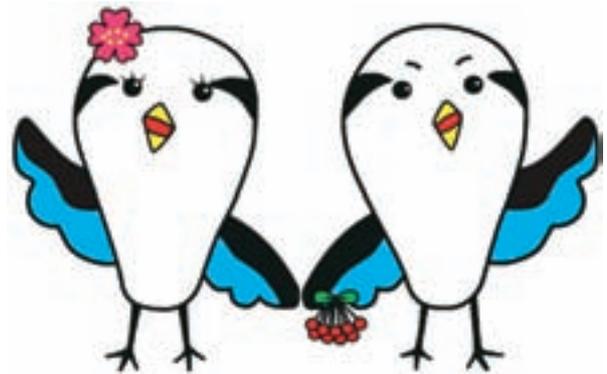


うらほろ留真温泉

■「うらは」と「ほろま」

まちのキャラクターである「うらは」と「ほろま」は、地域の魅力を知り、子供自身がまちづくりを考える「うらほろスタイル教育」の一環で中学生たちによって生み出されたキャラクターです。

町の鳥であるアオサギをモチーフにされており、町の花であるハマナスの髪飾りをつけている女の子の「うらは」と、町の木であるナナカマドの木の実をもっている男の子の「ほろま」の2匹は、うらほろ留真温泉を始め町内各地に描かれています。



「うらは」と「ほろま」

■厚内の船神輿

約40年続く厚内地区の伝統行事で、「ヤン衆」たちが重さ約400キロの神輿「第二あつない丸」を担いで、まず地域の漁業会社や漁協などをめぐり、最後に砂浜へ。太平洋の荒波に飛び込み、豊漁と安全操業、地域の繁栄を祈願して、「ワッショイ、ワッショイ」と叫びながら激しく神輿を上下させ氣勢を上げます。



勇壮な船神輿



せたな自慢の『日本一・日本初』 ～せたな町～

せたな町長 高橋 貞光



日本一の清流「後志利別川」

■まちの概要

せたな町は北海道の南西部、日本海に面した檜山支庁管内の北部に位置しています。平成17年9月1日に瀬棚町、大成町、北檜山町が合併して誕生しました。農業と漁業、酪農業が盛んな、人口8,500人のまちです。まちの北部には道南の最高峰狩場山（1,520m）、南部には秀峰遊楽部岳（1,276m）が連なり、その中間を清流日本一の一級河川後志利別川が静かに流れて日本海に注ぐ、自然豊かなまちです。

を賜ったと言われ、航海の安全と霊神の加護として信仰されてきました。

本殿は断崖絶壁にそびえる標高485mの太田山の頂上の洞窟内にあるため、参拝者はまず139段ある急斜面の階段を登り、さらにロープを頼りに狭い道幅の参道を進みます。最後は、ほぼ垂直の崖から吊り下がっている鉄の鎖をよじ登って、ようやく本殿へたどり着きます。苦労の末の参拝はご利益絶大。参拝後の下山も命がけ。最近、テレビで紹介されたこともあり、参拝者が急増中です。

■日本一険しい参道の「太田神社」



急斜面の階段（139段）



垂直の崖と鉄の鎖

嘉吉年間（1441年～1444年）創立と言われる太田神社。享徳3年（1454年）に松前藩の祖、武田信広がこの地に上陸した際に、太田大権現の尊号

■日本一の高さを誇る灯台「茂津多岬灯台」



昭和12年に茂津多岬に建設された茂津多岬灯台は、海面から灯台の一番先までの高さが290mと日本一高い灯台です。

昭和26年に兵庫県余部埼灯台が建設され、日本一の座を譲ったが、平成13年（2001年）に海上保安庁のデザイン灯台として三本杉岩（さんぼんすぎいわ）をイメージとしたモニュメントとなるよう改築され、灯台の高さ日本一を奪還しました。光の到達距離は約44kmにも及びます。

■日本一の清流 一級河川「後志利別川」



町内を流れる後志利別川は、北海道檜山振興局管内を流れ日本海に注ぐ一級河川。

流域は現在は檜山振興局管内であるが、かつては後志国の範囲であったためこの名前となっている。

国土交通省が公表している一級河川の水質現況において、昭和62年から平成27年までの間に通算16回水質ランキング日本一となっている。

（全国の一級河川で最多）

■日本一のロングホールがあるパークゴルフ場

190mの日本一長いロングホールがあるパークゴルフ場「北檜山グリーンパーク（36ホール）」。

13.8haと国内最大級の広さを誇り、なんと100m級のロングホールが4ホールもあります。広々としたコースがあなたを待っています。

■日本初の女医「荻野吟子」

荻野吟子は明治18年3月、医師の開業試験に合

格し、日本で初めての女医となりました。明治30年、瀬棚会津町（現せたな町瀬棚区）で「荻野医院」を開業。村の有力者に呼びかけ「淑徳（しゅとく）婦人会」を結成し、自ら会長となって、東北地方の大飢饉に対して義捐金募集を行うなど精力的に活動しました。大正2年6月、62歳でこの世を去りました。

■日本初の洋上風車「風海鳥（かざみどり）」



日本で初めて海の上に建設されて本格稼働した風車。日本海から吹く強い風をエネルギーに変えようというプロジェクトが始まり、平成15年10月に試運転開始。11月から送電を開始し、翌年4月から本格稼働。2基の風車の出力は600kW。

瀬棚港の沖合700mに浮かぶ洋上風車は、「風海鳥」の愛称で、せたな町民に親しまれています。

■特別編 日本海にそびえ立つ奇岩「三本杉岩」



三本杉岩は高さ30m前後で紺碧の海にそびえ立つ鋭い形の三つの巨岩です。上層部には岩松や寒冷地特有の植物が緑を添え、独特の風情をもっています。

青い海と白い波、そして夕日に映えるシルエット、刻々と変化する情景が絶妙です。夜間は、ロマンチックで幻想的な雰囲気漂わせています。

技術系学校の先生との懇談会



平成28年7月26日(火)当協会および(一社)日本電設工業協会北海道支部共催による技術系学校との懇談会を札幌グランドホテルで開催した。

業界と技術系学校相互の現状認識の把握と意見、要望を聞くため毎年行っている。

今回は大学1校、専門学校2校、高専1校、高校8校から12名が出席した。協会からは中野副会長をはじめ4名が出席した。

はじめに中野副会長から電気工事業界の状況にふれ「道内ではLEDに関連する設備投資、非常用発電設備、蓄電池を設置する省エネ、蓄エネを活用したBCP対策の増強、再生可能エネルギーの新設等、新しいビジネスチャンスが急速に拡大している状況である。一方で、団塊の世代が大量退職する時期を迎えている中、次世代を担う人材の確保育成が非常に重要になってきている。皆様には電気設備工事業界への進路指導についてご支援をいただきたい」と開会挨拶した。

協会から主な事業内容を説明。続いて道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成28年3月卒業生の就職状況」及び「平成28年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告。さらに、今年6月に調査した「インターンシップ実施企業調査結果」についての報告と今年度の当協会会員企業の実施計画を説明した。

学校関係者から「進路選択について生徒・保護者から、給与面に加えアパート・寮など福利厚生面も重要視している。今年の求人数は前年より多いが、道内からの求人の時期が遅いため本州企業を選択している学生もいる。インターンシップに関して協力いただいているが、できれば2学期の9月・10月に配慮いただけないか。また、交通費、宿泊費も出していただければ有り難い。札電協青年部と同様の保護者向けの説明会などを開催してもらいたい。30代の学生や女子の優秀な就職希望者にも採用の枠を広げてほしい」などの要望が出された。

これに対して協会から「本日、先生の皆様から出されたご意見、ご要望に対し、当協会としてどのような事ができるか検討したい。

優秀な学生を道内企業に入っていただくための努力をそれぞれの学校の先生と共に今後も進めていきたい」と理解を求め懇談会を終了した。

[参加校]

北海道科学大学、札幌科学技術専門学校、日本工学院北海道専門学校、函館工業高等専門学校、札幌工業高校、札幌琴似工業高校、室蘭工業高校、小樽工業高校、函館工業高校、旭川工業高校、富良野緑峰高校、滝川工業高校

技術系学校生徒との施設見学会



平成28年8月3日(水)当協会及び(一社)日本電設工業会北海道支部共催による札幌市内の技術系学校生徒との施設見学会を開催した。当日の参加者は札幌科学技術専門学校、札幌工業高校、札幌琴似工業高校の先生3名、生徒15名が参加した。

今回の見学場所は午前中、新設工事を行っている北海道電力(株)石狩湾新港発電所建設現場(所在地～小樽市銭函5丁目)、午後から北海道電力(株)中央給電指令所(所在地～札幌市中央区大通東1丁目 本社ビル7階)の2か所。

発電所の概要は1号機出力56.94万kW、2019年2月運転開始予定。2号機出力56.94万kW、2023年12月運転開始予定。3号機出力56.94万kW、2025年12月運転開始予定。燃料は1～3号機すべてLNGを燃料とするコンバインドサイクル発電方式。平成27年8月に着工し現在は、土木建築工事、取放水設備工事、ガス導管敷設工事が施工中である。(総合進捗率17.6%～7月20日現在)また、中央給電指令所は原子力、火力・水力発電所の発電設備と送配電設備を組み合わせ、北海道全域に電気の供給をコントロールしている。



当日は8時に協会前をバスで出発し9時に石狩湾新港発電所建設事務所前に到着。同事務所総務課の成田 智彦課長などから建設工事資料にもとづき概要説明と本日の工程詳細、注意事項の説明を受けた後、備え付けのヘルメットや作業衣、長靴に着替え見学場所へバスにて向かった。

①発電所本館の工事箇所②放水路立坑③ガス導管箇所④建設中のタンクNo3を含むLNG基地全景の順で詳細な説明を受けながら見学会が進められた。

時間に余裕があれば、No3の建設中タンク内の見学も可能であったが断念し建設事務所を後にした。

午後からは北海道電力(株)本社ビル7階の会議室で中央給電指令所の本田 篤司次長より概要説明を受けた後、中央給電指令所へと案内された。指令所内では24時間365日昼夜休みなく、消費電力量に合わせて、発電電力量を調整している様子が間近で見ることができ、生徒たちから質問が相次いだ。同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場での仕事ぶりを感じ取る事ができ生徒たちにとっては大変有意義なので今後も継続して欲しいと要望された。



～シリーズ～ 「私のいちおし」

(株)ドウデン

代表取締役社長 小笠原 憲生

私は札幌生まれですが、道南の函館には平成元年から4年間、更には平成17年から5年間の勤務があり、人生の1/7ほどの時を彼の地で過ごしたことになります。

多くのお店、居酒屋等で懇談をしましたがその中で、特に思い入れのあるお店が「てっ平」、飲む機会として夕刻スタート時から、また、飲み直しの一杯の際に、利用させていただきました。

函館駅から徒歩、数分、大きな通りである高砂通り少し手前の路地を左折し、更に右折したところにある こぢんまり としたお店です。



親父さんとお客さんとの掛け合いの中、出される料理に舌鼓を打ち、李白の漢詩の如く「一杯、一杯、復一杯」と盃が進みます。

奥には小上がりもあり、内緒の話も可能な隠れ家的存在のお店です！

(本人は無愛想と言っていますが、気のいい親父さんが一人で切り盛りしていますので、料理が出るのに 多少 時間を要することもあります。悪しからず)



(失礼な呑屋です！との表記)

○『てっ平』魚料理と にほん酒のお店

住 所 函館市若松町18-16

電 話 0138-22-7330

定休日 日曜日 (たまにはズル休みも！)

次回の「私のいちおし」は

橋本電気工事(株) 専務取締役

橋本 佳明さん

現場からこんにちは



工事名称：白石区複合庁舎新築受変電設備工事
白石区複合庁舎新築電灯・動力設備工事

発注者：札幌市

請負者：北盛・双豊 特定共同企業体

工事場所：札幌市白石区南郷通1丁目南8-1

工期：平成27年1月27日～平成28年9月30日
(受変電)

平成27年1月19日～平成28年9月30日
(電灯・動力)

【工事概要】

SRC造一部RC造(地下1階柱頭免震構造)

地下2階地上7階建 延面積16,155m²

【工種】

○受変電設備工事：

受変電設備・幹線設備・太陽光発電設備・
自家発電設備・静止型電源設備

○電灯・動力設備工事：

動力設備・電灯設備・雷保護設備・ロード
ヒーティング設備・屋外照明設備

今回取材をさせていただきましたのは、白石区複合庁舎新築電気設備工事の現場で電灯・動力設備工事を担当する、北盛・双豊 特定共同企業体の北盛電設(株)現場代理人兼監理技術者 深栖 正幹様及び双豊電気(株)河野 伸治様にお話を伺いました。

現在の白石区役所は、札幌市が政令指定都市に移行し区制が施工された昭和47年に建設され、施設の老朽化が進んでおります。加えて公共交通アクセスの不便さや災害時の防災機能が不十分な点等の課題を抱えておりました。このようなことから、白石区役所及び区民センター等の関連施設

を、地下鉄白石駅に隣接する場所へ「白石区複合庁舎」として移転建替えることとなりました。

新庁舎には、区役所、保健センター、保育・子育て支援センター(ちあふる・しろいし)、区民センター、えほん図書館を複合しており特にえほん図書館では、幼児やその保護者を対象に、読書を楽しめる環境を用意すると共に読書活動を通じた支援や、研修等を行う施設となるそうです。

新庁舎の特色については、免震技術として柱頭免震構法を採用しており、災害時には地域の防災拠点として十分な機能整備がされております。

また、太陽光発電設備として32kW・自動追尾型太陽光システム2kWを設置しております。

現場取材は8月末に行い進捗率は90%程度。作業内容としては、各階の器具取付や竣工検査に向けてのチェック関係を行ってまいりました。

現場で苦労した点については、高圧引込みが地中埋設の為、配管の納め方及び地下の躯体工事に関する工程調整等には特に気を遣いました。また、非常に交通量が多い場所での施工である為、資材搬出入の導線確保、交通事故や工事事故等を未然に防ぐよう、工事関連業者が一丸となり日々の作業を進めております。

関係者各位様に関しては、竣工間際の大変多忙な時期にも関わらず、取材にご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

最後になりますが、竣工まで無事故・無災害で有益な施設が完成することを祈念しております。

取材 広報委員 鈴木 高典、細野 隆平



電灯・動力設備工事を担当する

北盛電設(株) 現場代理人兼監理技術者 深栖さん(左奥)

双豊電気(株) 主任技術者 河野さん(右手前)

平成28年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



平成28年9月12日(月)ビルメンテナンス会館において、当協会と北海道電気工事業工業組合、(一社)北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で全道から4団体役員等、約70名の参加のもと、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「平成28年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催した。

最初に主催者を代表して当協会の大房 孝宏会長から「労働力の高齢化、人材の確保と育成など設備工事業界の抱える現状などを説明し、今後ともご支援とご指導をお願いしたい」と挨拶された。

続いて、北海道建設部建築局建築整備課 設備・環境担当課長の川尻 康博様から「2016年度の入札状況について、設備工事での不調はなかったものの、建築工事の不落に伴い再入札となった案件があったことを報告。今後の発注に向けて、八雲高産業振興棟、特別教育棟改築や小樽などの



ご挨拶 川尻設備・環境担当課長

道営住宅について準備を進めている」と挨拶された。

引き続き、建築局の担当者から①公共工事の品質確保の取り組みについて②工事施工成績評定について③建設業法の一部改正について解説頂いた。

この後、主催者側から「分離発注の継続のお願い」と、安定的な人材確保や育成、処遇改善や職場環境の整備ができるよう「安定的な工事量の確保」を要望した。



北海道建設部幹部の皆さん

これに対して道側は「分離発注については、確実な施工責任体制、良質な品質確保のため従前から実施しており今後も継続する。皆様には工事情報などに留意してもらい受注機会を逃すことのないようお願いしたい」また工事量確保では「建築局は工事予算を要求する部局ではなく、工事量確保という立場にはないとしつつ、建築物のストックマネジメントと本庁舎等の修繕業務を一元化し、同施設の長期保全計画や修繕工事に主体的にかかわることとなっており、今後とも工事量の確保に繋がるよう努めたい」と回答をいただき有意義な研修会を終えた。

厚生委員会行事報告

平成28年度 第3回・第4回ゴルフ部会コンペ成績



第3回優勝者 三好さん(右)



第4回優勝者 脇坂さん(左)

第3回 例会 平成28年7月21日(木) 札幌エルムCC 参加者26名

順位	氏名	会社名	IN	OUT	GROSS	HC	NET
優勝	三好 裕一	札幌機電	43	40	83	15	68
準優勝	吉山 陽市	道ジーエス・ユアサ	45	43	88	18	70
3位	関戸 武勲	岸野電気	49	47	96	26	70
4位	渡辺 広史	東光電気	45	42	87	16	71
5位	佐藤 信悦	旭日電気	42	45	87	16	71
6位	佐久間忠信	北明電気	39	40	79	7	72
7位	松原 一朗	北明電気	41	39	80	7	73
8位	稲津 亘	北盛電設	47	40	87	14	73
9位	暁 友祐	北札幌電設	45	47	92	18	74
10位	荒川 正一	札幌日信電子	46	45	91	15	76

(特別賞)

B	G	佐久間忠信	北明電気
大波賞		桜庭 謙次	北電力設備
小波賞		住本 邦裕	道タツヲ電気
B	B	賞 室野 正至	富士電機
N	P	渡辺 広史	東光電気
N	P	佐藤 信悦	旭日電気
N	P	松原 一朗	北明電気
N	P	荒川 正一	札幌日信電子
N	P	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ
N	P	山口 勉	山口電気

第4回 例会 平成28年9月15日(木) 札幌芙蓉CC 参加者34名

順位	氏名	会社名	南	中	GROSS	HC	NET
優勝	脇坂 裕一	北弘電社	42	38	80	10	70
準優勝	小野寺涼一	大成電気	42	40	82	11	71
3位	吉田 岳夫	北海電工	37	46	83	12	71
4位	木村 賢史	道タツヲ電気	42	45	87	16	71
5位	大塚 雅史	北盛電設	47	44	91	20	71
6位	佐久間忠信	北明電気	39	40	79	7	72
7位	中鉢 征	三共電気	47	50	97	25	72
8位	山口 勉	山口電気	49	44	93	18	75
9位	橋本 佳明	橋本電気	48	50	98	23	75
10位	住本 邦裕	道タツヲ電気	41	40	81	5	76

(特別賞)

B	G	佐久間忠信	北明電気
大波賞		関戸 武勲	岸野電気
小波賞		住本 邦裕	道タツヲ電気
B	B	賞 水越 孝行	でんこう
N	P	脇坂 裕一	北弘電社
N	P	小野寺涼一	大成電気
N	P	大塚 雅史	北盛電設
N	P	佐久間忠信	北明電気
N	P	橋本 佳明	橋本電気
N	P	矢田 彰	北弘電社
N	P	佐口 紀浩	日本電設工業
N	P	〃	〃

平成28年度 野球部会活動報告



会員の皆様、日頃より野球部会の活動にご協力をいただきましてありがとうございます。

毎年恒例の会社対抗ソフトボール大会は、今大会で28回目を迎えました。本年度は8月4日(木)午前9時20分より、会場は例年の室内施設「つどむ」ではなく、屋外の「美香保公園野球場A球場(東区北22条東4丁目)」において開催しました。

今大会の参加チームは昨年同様、北弘電社・北海電気工事・北電力設備工事・橋本電気工事・JVチームの計5チームによるトーナメント方式で熱戦が繰り広げられました。

今年は真夏の屋外での開催となり暑さとの戦いでもありましたが、各チームとも日頃のチームワークを発揮し白熱した試合が展開されました。(札幌のこの日の最高気温 29.6℃)

結果につきましては、圧倒的な強さで他のチー

ムを寄せ付けなかった「北弘電社」が優勝し見事9連覇を達成しました。2位はチームワーク抜群で1・2回戦とも接戦を勝ち抜いた「橋本電気工事」、3位「北海電気工事」、4位「JVチーム」、5位「北電力設備」となりました。

参加された各チームの皆様、厳しい暑さの中にもかかわらず元気なプレー、白熱した試合ありがとうございました。また応援に来ていただいた方にも感謝申し上げます。

来年度におきましても今回参加されました皆様も含め1名でも多く参加いただき、今大会以上、盛り上がる事を期待しております。

最後に、今大会も皆様のご協力をいただき無事終えることができました事に、幹事一同深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

野球部会幹事 友重 陽介(株北弘電社)記



優勝 北弘電社チーム



開会挨拶 嶋津厚生委員長(左)

前人未踏の10連覇へ

「ナイスボール！」

集合時間より前に到着した私は、球場から聞こえる威勢のいい声から、「随分気合いの入っているチームもあるんだなあ」そう感じつつ乾いたグラウンドに足を踏み入れました。

平成28年8月、30℃近い炎天下の中、北海道電業協会会社対抗ソフトボール大会が野外の美香保公園球場にて開催されました。

我が北弘軍はすでに前年度大会で8連覇中。渡されたユニフォームに袖を通すと常勝軍団としてのプレッシャーを感じました。初参戦だった私は、新戦力として期待され助っ人外国人気分で出場しましたが全くと言っていいほど活躍できず、ダメダメ助っ人となってしまいました。ですがそこは8連覇の実績を誇るチーム。今年度甲子園で準優勝を成し遂げた北海高校を思い出すかのような圧倒的な勢いと打力によって、見事優勝し9連

覇を成し遂げました。

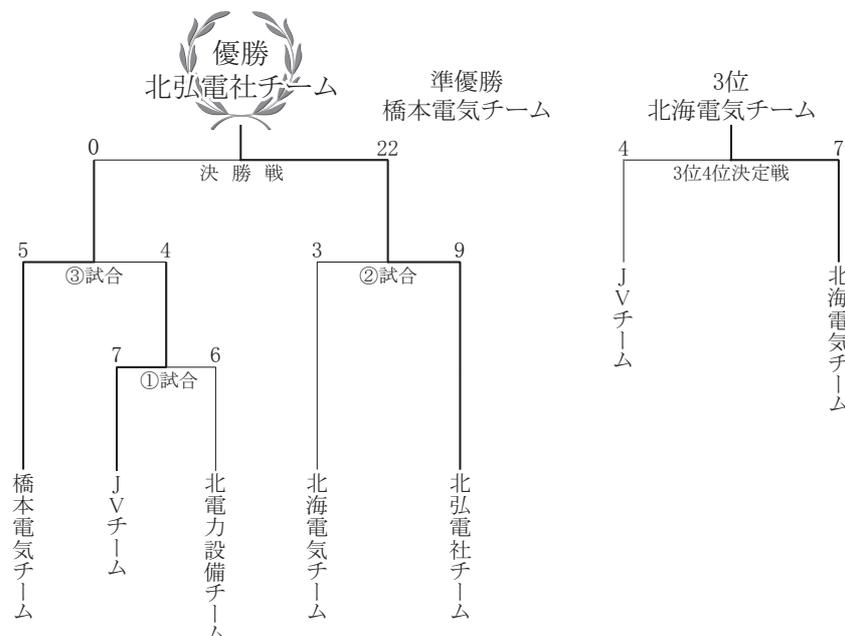
怪我も無く快晴の中で、目一杯体を動かせたのは、日頃の仕事の疲れが癒やされたところではありましたが、問題は次の日でした。慣れない運動からか全身筋肉痛となり階段の上り下りだけでヒーヒー言っていたのはきっと私だけでは無いと思います（笑）。

来年は前人未踏の10連覇がかかっています。今年の成績から、戦力外通告が来ないことを祈るばかりですが（笑）、自主トレと仕事でのアピールで来期の選手契約を勝ち取り、チームの一員として今後は勝利に貢献できるよう努力していこうと思います。

応援に来ていただいた皆様、また北海道電業協会幹事の皆様、本当にありがとうございました。

齊藤 洋介 （株北弘電社） 記

成績表



平成28年度 第1回・第2回開催ボウリング部会報告



平成28年度第1回目のボウリング部会が6月24日(金)にノルベサにて開催されました。業務多忙の中、19名の方が参加して下さいました。

優勝者は北海道タツヲ電気(株)の畑さん。準優勝者は(株)北弘電社の十日市さんでした。スクラッチトータルでは両者譲らずの同スコア(295)でしたが、わずか1のハンデ差が明暗を分けました。

続いて第2回目のボウリング部会が8月19日(金)に同じくノルベサにて開催され、18名の方に参加頂きました。

若いながらも安定、圧巻の投球術で拓北電業(株)の若宮さんが見事初優勝！ 準優勝には旭日電気工業(株)の菅井さんでした。トータルでわずか1ピン差とこちらも大変すばらしい勝負でした。

白熱したゲームの後は、いつもの「北海しゃぶしゃぶ」で懇親会です。業界仲間同士で顔を合わせる事が少なくなった昨今ですが、参加者は美味しい料理とお酒が懇親をさらに深め、隣り合う仲間と存分に語りそして笑い、楽しい一時を過ごしました。

我々幹事一同には「今日はありがとう」「お疲れ様」と労いの声をかけて頂く事も。皆様の気遣い、大変嬉しく思っております。

さて近年のボウリング部会ですが、参加人数に若干の寂しさを感じています。

金曜の夜と言う事もあり、公私共に多忙とは思いますが、何卒お時間を作って参加頂ければ嬉しい限りです。

なお、第3回ボウリング部会は10月28日(金)に開催致します。幹事一同、皆様の多数の参加をお待ちしております。



第2回 優勝者の若宮さん(左) 藤井部会長(右)

ボウリング部会長

藤井 大樹(株)でんこう)記

平成28年度

第1回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

開催日：平成28年6月24日(金)

順位	氏名	1G	2G	ハンデ	合計	会社名
優勝	畑 澄人	167	128	22	339	北海道タツヲ
準	十日市 樹	177	118	21	337	北弘電社
1	福田 哲也	130	126	30	316	大成電気
2	嶋田 幸規	139	139	17	312	北弘電社
3	尾崎 健太	145	105	30	310	拓北電業
4	木村 賢史	126	129	24	303	北海道タツヲ
5	畑 千寿代	118	104	40	302	北盛電設
6	森崎 享一	166	125	2	295	北盛電設
7	本間 美則	142	131	9	291	拓北電業
8	三好 裕一	154	135	0	289	札幌機電
9	吉岡 秀雄	107	112	30	279	弘和電気
10	鈴木 雅宏	134	138	0	272	北海電気
※1	特別賞 (イチロー賞)	鈴木 周平		北電力設備		
※2	委員長賞	吉岡 秀雄		弘和電気		
	ブービー賞	水谷 吉男		弘和電気		
	ブービーメーカー賞	坂本 淳		北海道タツヲ		

※1 イチロー3000本安打まで後17本で上から17番目

※2 嶋津委員長の誕生日1月1日にちなみ上から11番目

平成28年度

第2回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

開催日：平成28年8月19日(金)

順位	氏名	1G	2G	ハンデ	合計	会社名
優勝	若宮 昇平	156	140	22	340	拓北電業
準	菅井 末行	131	172	18	339	旭日電気
1	吉岡 秀雄	99	180	30	339	弘和電気
2	下屋敷 卓	114	171	21	327	末廣屋電機
3	森崎 享一	170	145	0	315	北盛電設
4	鈴木 雅博	126	186	0	312	振興電気
5	伊藤 寿教	103	149	30	312	三共電気
6	十日市 樹	125	163	11	310	北弘電社
7	三好 裕一	129	160	0	289	札幌機電
8	友重 陽介	104	173	6	289	北弘電社
9	福田 哲也	144	108	18	288	大成電気
10	藤井 大樹	135	111	17	280	でんこう
	ハイゲーム賞	鈴木 雅博		振興電気		
	小波賞	大塚公仁子		拓北電業		
	ブービー賞	畑 千寿代		北盛電設		
	ブービーメーカー賞	深谷 耕二		ユアテック		
	特別賞	友重 陽介		北弘電社		

平成28年度(-社)日本電設工業協会 会員大会のお知らせ

◎日時 平成28年10月20日(木) 15時～16時30分

◎場所 ホテルグランヴィア岡山 4階「フェニックスの間」

◎記念講演会 16時45分～17時45分

- ・会場 同ホテル 「クリスタルの間」
- ・演題 ひとつのことをやり抜く力
- ・講師 有森 裕子 氏 (元マラソンランナー、五輪メダリスト)

◎会員懇親会 18時～20時

- ・会場 同ホテル 「フェニックスの間」

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(平成28年6月22日付)

○(株)北弘電社

(新) 代表取締役社長

(旧) 代表取締役社長

脇田 智明

中野 章

(平成28年6月29日付)

○東邦電気工業(株)北海道支店

(新) 支店長

(旧) 支店長

大橋 修二

松浦 重男

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成28年8月25日(木) 12:00~14:30

第3回議題

【協議事項】

1. 平成28年度「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁調整状況について
2. 平成28年度「公共建築の日」フェスティバル inモエレ記念イベント事業への参加について
3. 「平成28年度 建設産業ふれあい展」への参加について
4. 平成28年度 経営者懇談会・セミナーの開催要領について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 平成28年度 電気設備施設見学会の開催について
2. 技術系学校の先生との懇談会の開催結果について
3. 学生対象とした施設見学会の実施結果について
4. 平成28年度 総務委員会検討課題の中間報告について
5. 企業会員の代表者変更について
6. 平成28年9~10月行事予定について
7. その他意見交換会
以上、概要を報告(宇野専務理事)

|| 三 役 会

◇平成28年7月12日(火) 12:00~13:00

第4回議題

1. 平成28年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念行事における後援名義の使用について
2. 平成28年度「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁調整状況について
3. 技術系学校の先生との懇談会の参加状況について
4. 技術系学校の生徒との電気設備見学会の実施について
5. 札幌市業界団体連絡協議会の平成29年度からの年会費徴収の再開について
6. 電気通信事業の諸課題に関する意見交換会の開催について
7. 平成28年7~8月行事予定について
8. その他意見交換会

◇平成28年8月2日(火) 12:00~13:00

第5回議題

1. 社会保険等未加入対策に関する説明会の開催について
2. 平成28年度「建設産業ふれあい展」に係る打ち合わせについて
3. 平成28年度「札幌市電気設備施工研修会」の結果について

4. 技術系学校の先生との懇談会の開催結果について
5. 第41回（一社）北海道建築士会全道大会（室蘭大会）のご案内について
6. 会員代表者の変更について
7. 平成28年8～9月行事予定について
8. その他意見交換
 - ・創立50周年記念事業に係る検討
 - ・今後の会費徴収に係るあり方について

◇平成28年9月13日(火) 12:00～13:30

第6回議題

1. 平成29年度 電業協会及び電設協道支部役員会の日程（案）について
2. 「平成28年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動」の実施及び「第37回建設産業交通安全全道大会」の開催について
3. 平成28年度 北海道社会貢献賞（建設雇用改善優良事業所）に係る推薦について
4. 新卒予定者の就職活動に係る技術系教師の意見・要望への対応について
5. 平成28年9～10月行事予定について
6. その他意見交換

総務委員会

◇平成28年8月3日(水) 12:00～13:00

第2回議題

1. 平成28年度 総務委員会の体制について（委員交代）
2. 平成28年度 技術系学校の先生との懇談会の開催結果について
3. 創立50周年記念事業に係る検討について
4. 今後の会費徴収の在り方について
5. その他意見交換

経営委員会

◇平成28年7月29日(金) 12:00～13:00

第2回議題

1. 電設協 第267回政策委員会の開催概要について
2. 27年度分離発注要請活動集約結果について
3. 平成28年「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁との調整状況について
4. 札幌開発建設部に対する意見・要望について
5. その他意見交換

◇平成28年9月21日(水) 12:00～13:00

第2回議題

1. 電設協 第268回政策委員会の開催概要について
2. 平成28年度 経営者懇談会・セミナー開催概要について
3. 平成28年度「建設産業ふれあい展」について
4. 平成28年度分離発注要請活動について
5. 創立50周年記念事業に係る検討と今後の会費徴収に係るあり方について

広報委員会

◇平成28年9月13日(火) 15:00～17:00

第2回議題

1. 会報「冬号」の編集方針（案）について
2. 新春特集について
3. 会報「秋号」の校正について
4. その他意見交換

事務局日誌

- 7月1日(金)・野球部会打ち合わせ
- 8日(金)・建専連と北海道開発局幹部との意見交換会(札幌第一ホテル) 宇野専務
- 12日(火)・第4回 三役会議
・野球部会打ち合わせ
- 19日(火)・ゴルフ部会
- 21日(木)・第3回ゴルフコンペ(札幌エルム)
・札幌市電気設備施工研修会
(北海道電気会館)
- 26日(火)・技術系学校の先生との懇談会
(札幌グランドホテル)
- 27日(水)・野球部会打ち合わせ
- 28日(木)・本部理事会
・本部第333回運営委員会
(東京) 大房支部長
- 29日(金)・第2回経営委員会
・北海道開発局、札幌開発建設部との意見交換会
(北海道電気会館)
- 8月2日(火)・第5回 三役会議
- 3日(水)・技術系学校の生徒との施設見学会
(北海道電力(株)石狩湾新港PS建設所、北海道電力(株)中央給電指令所)
・第2回総務委員会
- 4日(木)・会社対抗ソフトボール大会
(美香保球場)
- 5日(金)・本部・支部事務連絡会議
(東京) 宇野専務
- 9日(火)・「建設産業ふれあい展」打ち合わせ
(道庁別館) 宇野専務
- 19日(金)・第2回ボウリング部会(ノルベサ)
- 25日(木)・第3回理事会・常議員会
- 26日(金)・第2回歌唱部会(ちゃ茶)
- 31日(水)・札幌商工会議所設備工事部会
(経済センター) 宇野専務
- 9月5日(月)・本部第334回運営委員会
(東京) 大房支部長
- 6日(火)・「公共建築の日」スタッフ会議
(合同庁舎) 宇野専務
- 9日(金)・営業マンソフトボール大会
(リゾートサッポロ)
- 12日(月)・北海道の建築工事に係る合同研修会
(ビルメンテナンス会館)
・ゴルフ部会
- 13日(火)・第6回三役会議
・本部第268回政策委員会(東京)
・第2回広報委員会
- 14日(水)・平成28年度 労働衛生週間説明会
(建設会館) 宇野専務
- 15日(木)・第4回ゴルフコンペ(札幌芙蓉CC)
・本部理事会
・本部第335回運営委員会
(東京) 大房支部長
- 16日(金)・平成28年度 北海道産業安全衛生大会
(共催ホール) 宇野専務
・あと施工アンカー実技講習会
(北海電気工事(株)配電技術センター)
- 21日(水)・第3回経営委員会
- 29日(木)・施設見学会(北海道電力(株)南早来変電所大型蓄電システム)
・第3回総務委員会

編集後記

今秋号の巻頭言に、北海道建設部施設整備担当局長の加藤 建一様から、「大規模公共建築物の整備」についてご寄稿いただき、厚くお礼申し上げます。事業期間が長く大規模な道有施設の整備にあたり、電気設備に携わる私ども業界が重要な役割を担えるよう、ご指導方よろしくお願いいたします。

日本選手の活躍で日本中が大いに沸いたりオデジャネイロオリンピックが終了した8月末にこの原稿を書いています。今月北海道では一週間に三つの台風が上陸し、さらに台風10号による大雨の影響もあり十勝・上川地方を中心に多くの河川が氾濫しました。

収穫期を迎える直前の農作物は大きな被害を受け、道内各地のJRや主要道路、橋梁も甚大な被害を受け復旧には相当の期間がかかる状況となっております。停電も道内各地で多数発生し、厳しい環境のもと復旧へ向け皆さん全力で対応されたことと思います。

改めて『電気』というライフラインの整備、維持、保全を担う立場にある私たち業界の役割・重要性・公共性を再認識させられた次第です。

今回台風の被害にあわれました皆様へ心よりお見舞いを申し上げ、これ以上の被害なく実りの秋が迎えられるよう祈願して、編集後記といたします。

広報副委員長 成瀬 薫



発行 平成28年10月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp